

Techivation M-Puncher

ユーザーマニュアル



Techivation M-Puncher

概要

M-Puncherはレベルに依存せず、トラックにパンチとローエンドの厚みを加えるツールです。オーディオのアタック部分とサステイン部分を識別し、それぞれを独立して処理します。そのため、ミックスのインパクトやアンビエンス感を簡単に高めることができます。

M-Puncherのダイナミック・リミッティングは、トラックのパンチを強調する方法を選択することができます。M-Puncherには、ミッドサイド・プロセッシング、オートゲイン補正、周波数依存分析などの便利な機能も満載です。

さらに詳しく: <https://techivation.com/m-puncher/>

Techivation M-Puncher

特徴

- Punchiness
- Limiting
- Thump Control
- Three envelope styles
- Sustain Control
- Detection Range
- Diff & Sidechain
- Dry/wet Mix
- Make Up Gain
- Auto Gain
- Mid-Side and Left & Right
- Internal On-Off
- Input-Output Level Meters
- Internal On-Off Switch
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Presets
- Scaleable Graphic User Interface (GUI)
- Internal Menu
- Show/Hide Tooltips
- Stereo and Mono

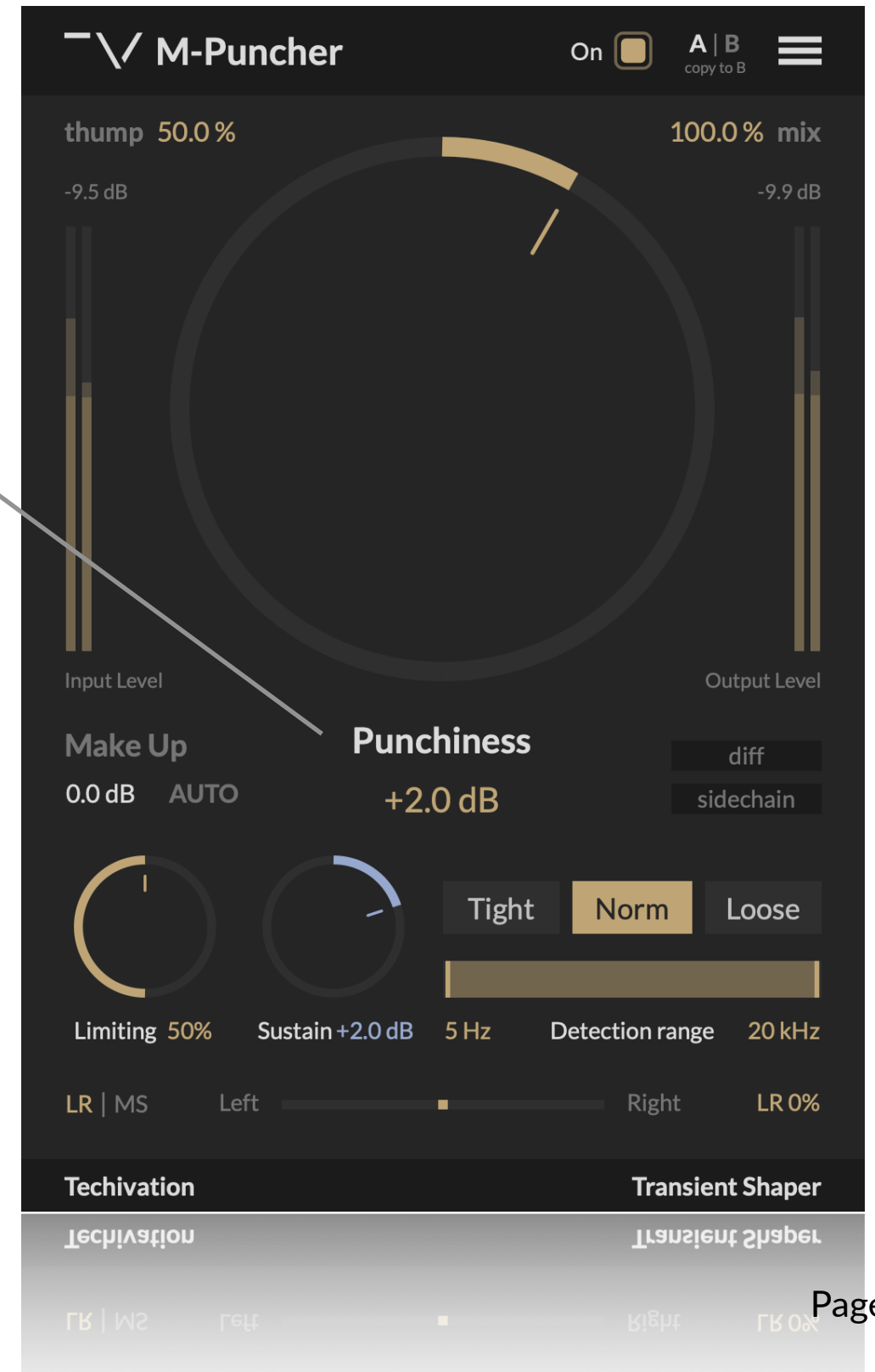
Techivation M-Puncher

特徴

Punchiness

「Punchiness」はプラグインのメインコントロールです。トラックのアタック（トランジェント）のレベルをブーストまたはカットできます。

オーディオのパーカッシブな要素にパンチを加えるには「Punchiness」を大きくし、代わりに柔らかくするには小さくします。Punchinessを上げると、信号のピークレベルが上がることに注意してください。このレベル上昇は、「Limiting」コントロールを使って抑えることができます。



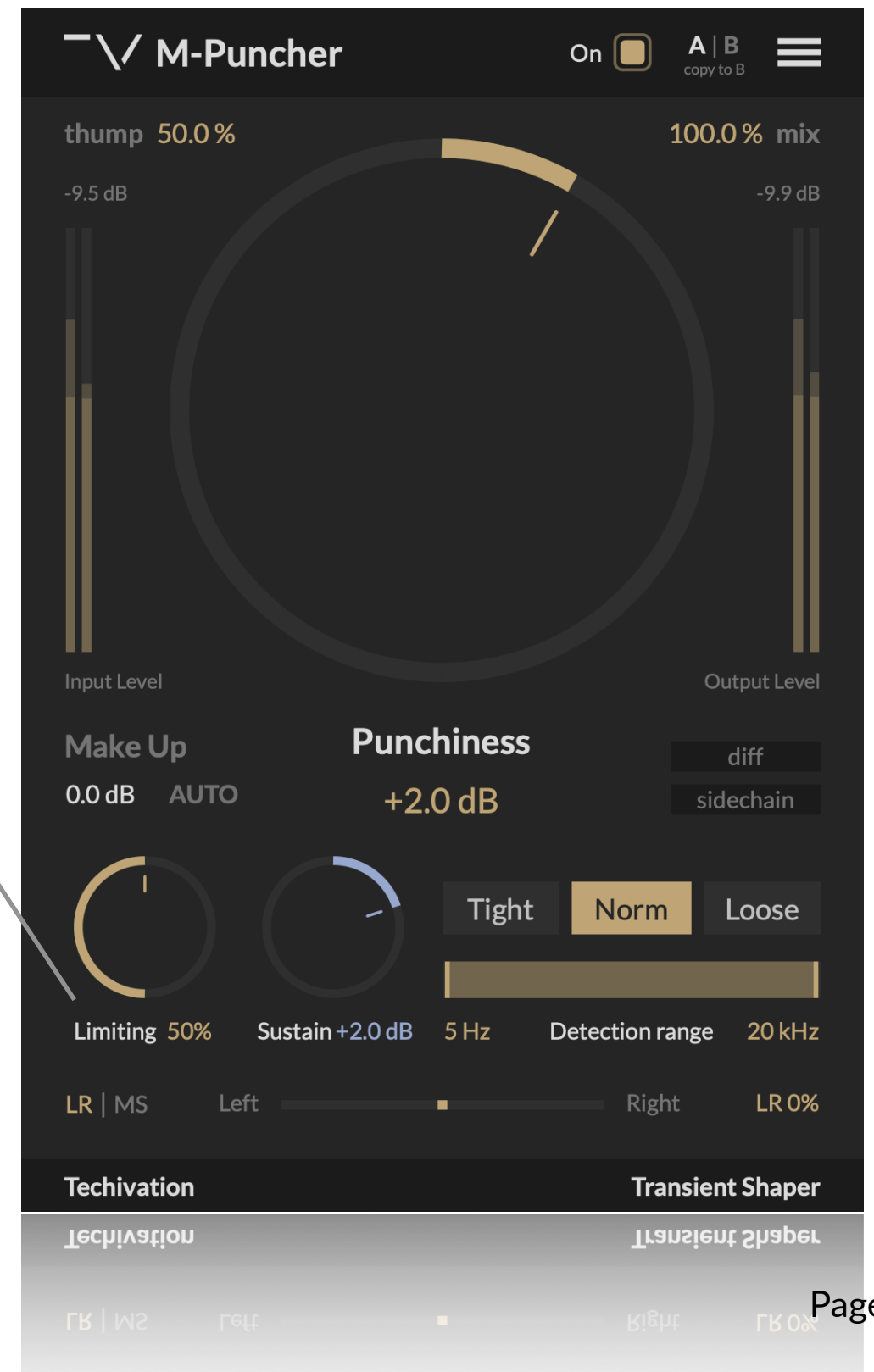
Techivation M-Puncher

特徴

Limiting

"Limiting"パラメーターはM-Puncherのダイナミックソフトクリッパーをコントロールします。Punchiness"をブーストする際、アタックのレベルをどの程度上げるかをコントロールできます。Limiting"を上げると、アタック・レベルが抑制され、ハーモニックの豊かさが増します。これにより、トラックが必要とするパンチのキャラクターを正確に見つけることができます。M-Puncherのダイナミック・ソフトクリップ・リミッターは、入力信号レベルとは完全に独立しており、固定スレッシュホールドを使用しません。その代わりに、アタック・レベルが元のボリュームと比べてどれだけ上昇するかを制限します。このため、どのようなラウドネスやダイナミック・レンジの入力に対しても同等の効果を発揮します。

ダイナミック・ソフト・クリッパーの主な目的は、アタック・レベルの上昇を制限することですが、"Punchiness"が0以下に設定されている場合でも有効です。つまり、"Limiting"を高く設定すれば、"Punchiness"を上げなくても、オーディオのアタック部分に微妙なサチュレーションを加えることができます。



Techivation M-Puncher

特徴

Thump

"Thump"コントロールは、オーディオのアタック部分に低音ブーストをかけます。元のトーンバランスを保ちながら、トラックのローエンドのインパクトを強調することができます。

Thump"を0に設定すると、アタックのトーンは変わりません。Thump"を上げると、アタックのトーン・バランスが低域を強調するようにシフトしますが、その他の信号はまったく影響を受けません。

"Thump"はリニアフェイズフィルターを使用し、位相キャンセルの問題のないクリーンな低域ブーストを実現します。



Techivation M-Puncher

特徴

Envelope styles

M-Puncherの "Punchiness" コントロールは、トラックのアタック部分にボリューム・エンベロープを適用してシェイプします。3つのエンベロープスタイルから選択できます：

「Tight」、"Normal"、"Loose"。

「Tight」モードは、最も速い "Punchiness" エンベロープを有効にします。Punchiness をブーストする際、短いスナッピーなアタックを実現するのに最適です。

「Normal」モードは、中程度の "Punchiness" エンベロープを有効にします。このモードは、"Punchiness" をブーストする際に、集中したパンチとアタックの開放感のバランスを取る。

"Loose" モードは、より遅い "Punchiness" エンベロープを有効にします。Punchiness をブーストする際、より長いオープンなアタックサウンドが得られます。



Techivation M-Puncher

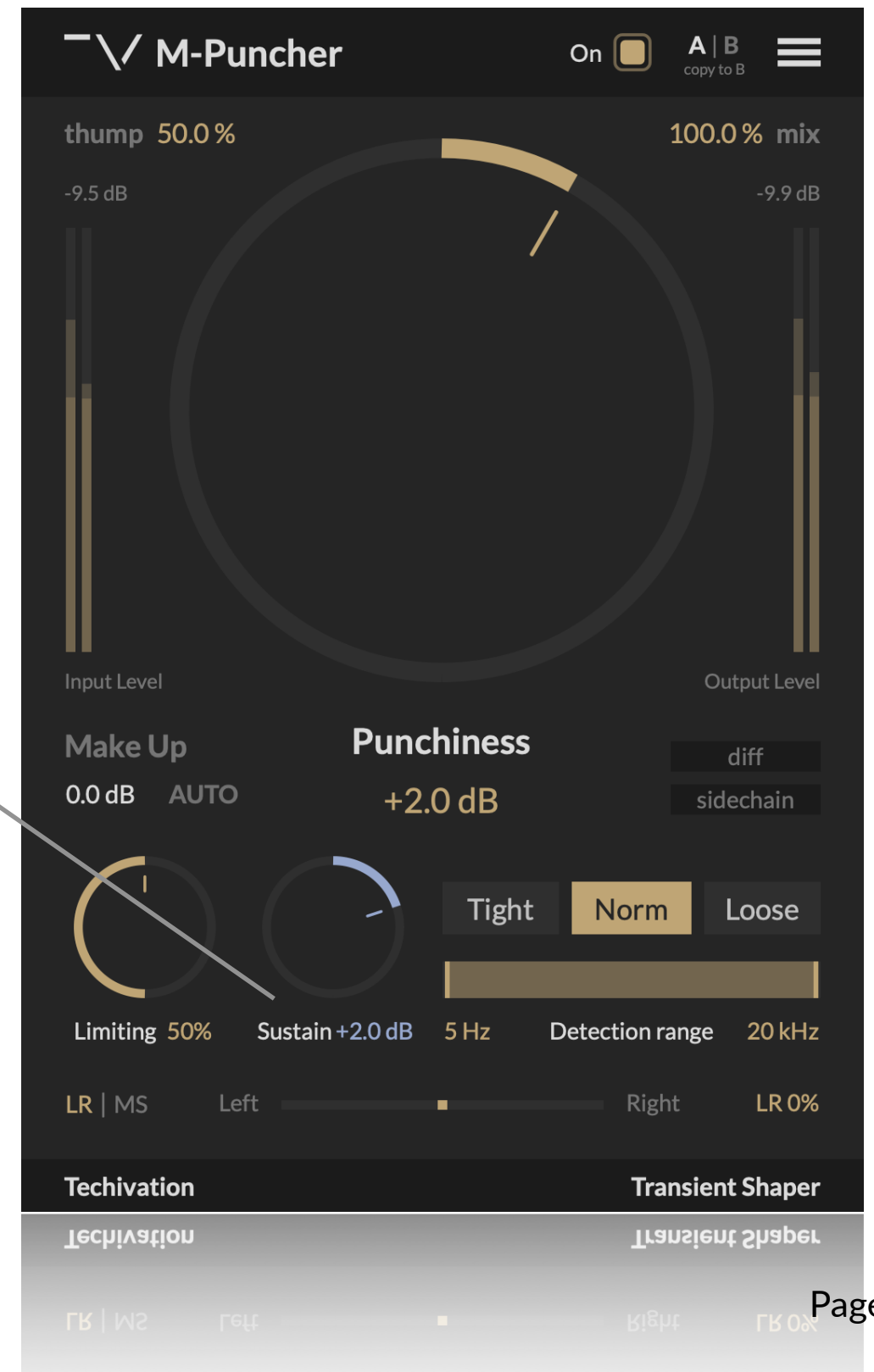
特徴

Sustain Control

"Sustain"コントロールで、オーディオのサステーン部分のレベルをブーストまたはカットできます。

Sustain "を上げると、音の減衰が長くなり、トラックの密度と雰囲気が高まります。

Sustain "を下げると音の減衰が速くなり、トラックはよりドライでクローズアップされ、フォーカスされたキャラクターになります。



Techivation M-Puncher

特徴

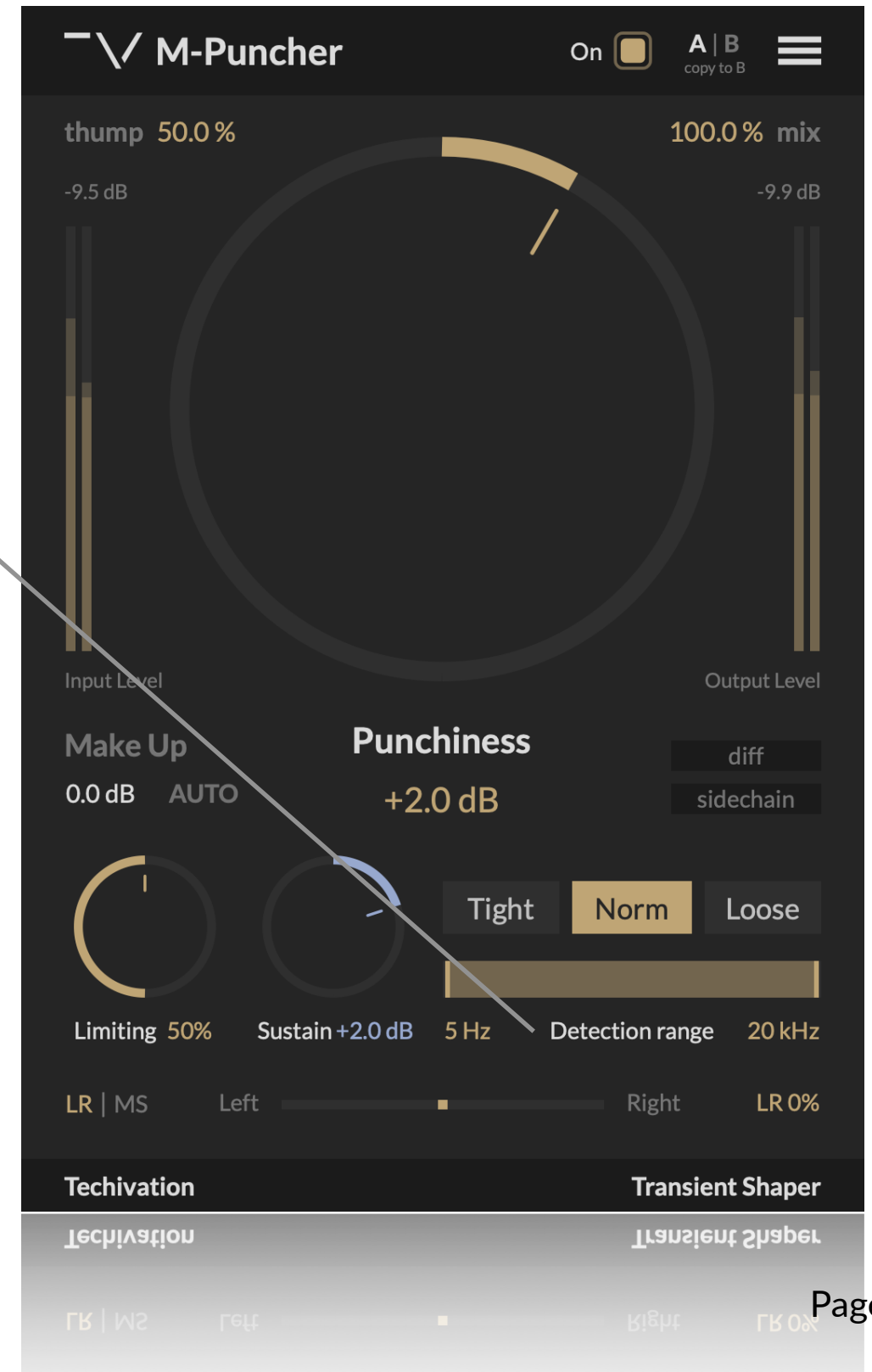
Detection range

"Detection range" コントロールは、M-Puncherがオーディオのアタックとサステイン部分を識別するために分析する周波数範囲を制限することができます。

このコントロールを使って、"Punchiness"、"Sustain"、"Thump" コントロールによって影響を受けるトラックの特定の部分を正確にターゲットにすることができます。

例えば、フルドラムキットを処理するとき、高い周波数帯域をターゲットにしてスネアとハイハットだけをターゲットにしたり、低い周波数帯域をターゲットにしてキックドラムだけをターゲットにしたりできます。

"検出範囲" は、M-Puncherがアタックとサステインのボリューム・エンベロープを計算するために分析する内部サイドチェーンにのみ影響します。処理自体は常に信号の全帯域に適用され、オーディオを複数の帯域に分割することでアタックのインパクトが損なわれることはありません。



Techivation M-Puncher

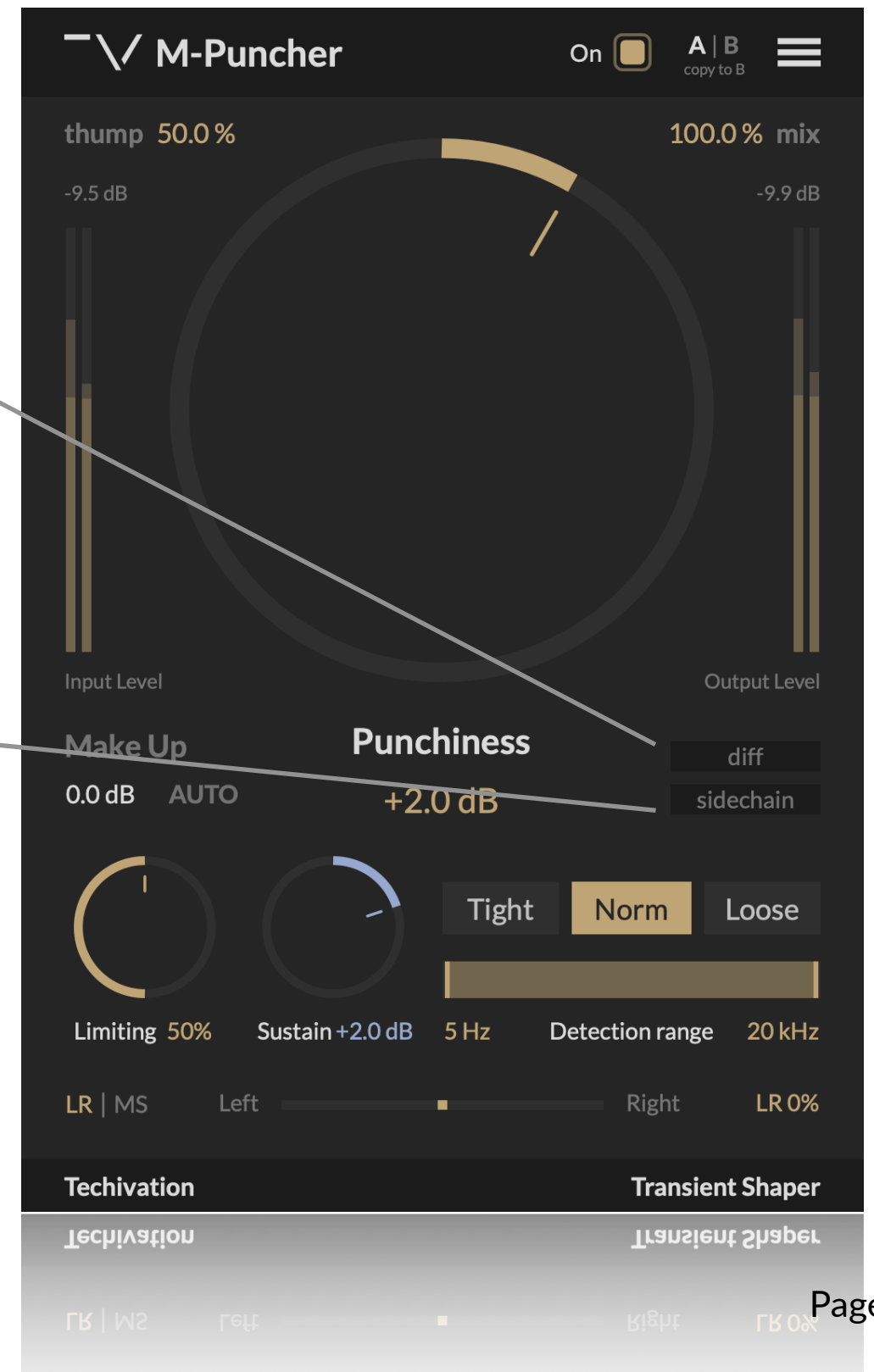
特徴

Diff

M-Puncherの'Diff'機能は、処理された信号と元の信号の違いを聴くことができる便利なツールです。この機能により、オーディオに加えられた変更と拡張を聴き取ることができ、設定の微調整が容易になり、望ましい音質を達成することができます。

Sidechain

"サイドチェイン"では、"検出範囲"コントロールで選択した周波数帯域だけを聴くことができます。これにより、プラグインが反応すべきトラックの要素を微調整できます。



Techivation M-Puncher

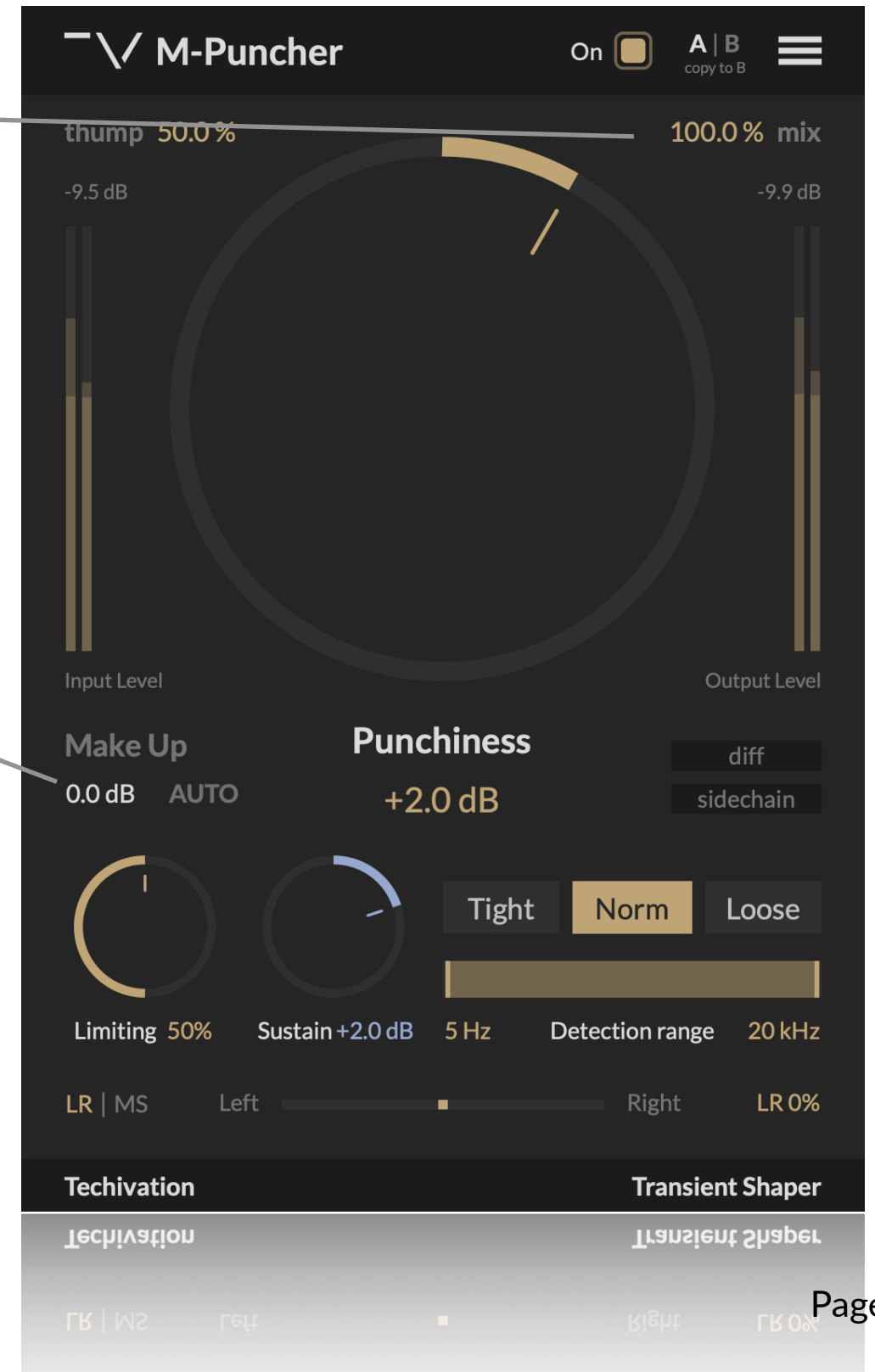
特徴

Dry/wet Mix

Mix オプションは、入力信号と出力信号のブレンドを調整します。パラレル処理に最適です。0%（プラグイン・バイパス）から100%（デフォルト）まで設定できます。mix'をダブルクリックすると、デフォルト値にリセットされます。

Make Up Gain

M-PuncherのMake Up Gainは、処理された信号に適用されるゲインの量を正確にコントロールすることができます。この機能は、オーディオ出力が一貫した望ましい音量レベルを維持するために特に役立ちます。Auto Gain'オプションを有効にすると、プラグインがインテリジェントにメイクアップ・ゲインを自動的に設定し、プロセスから推測を取り除き、最小限のユーザー介入で最適なオーディオ品質を確保します。



Techivation M-Puncher

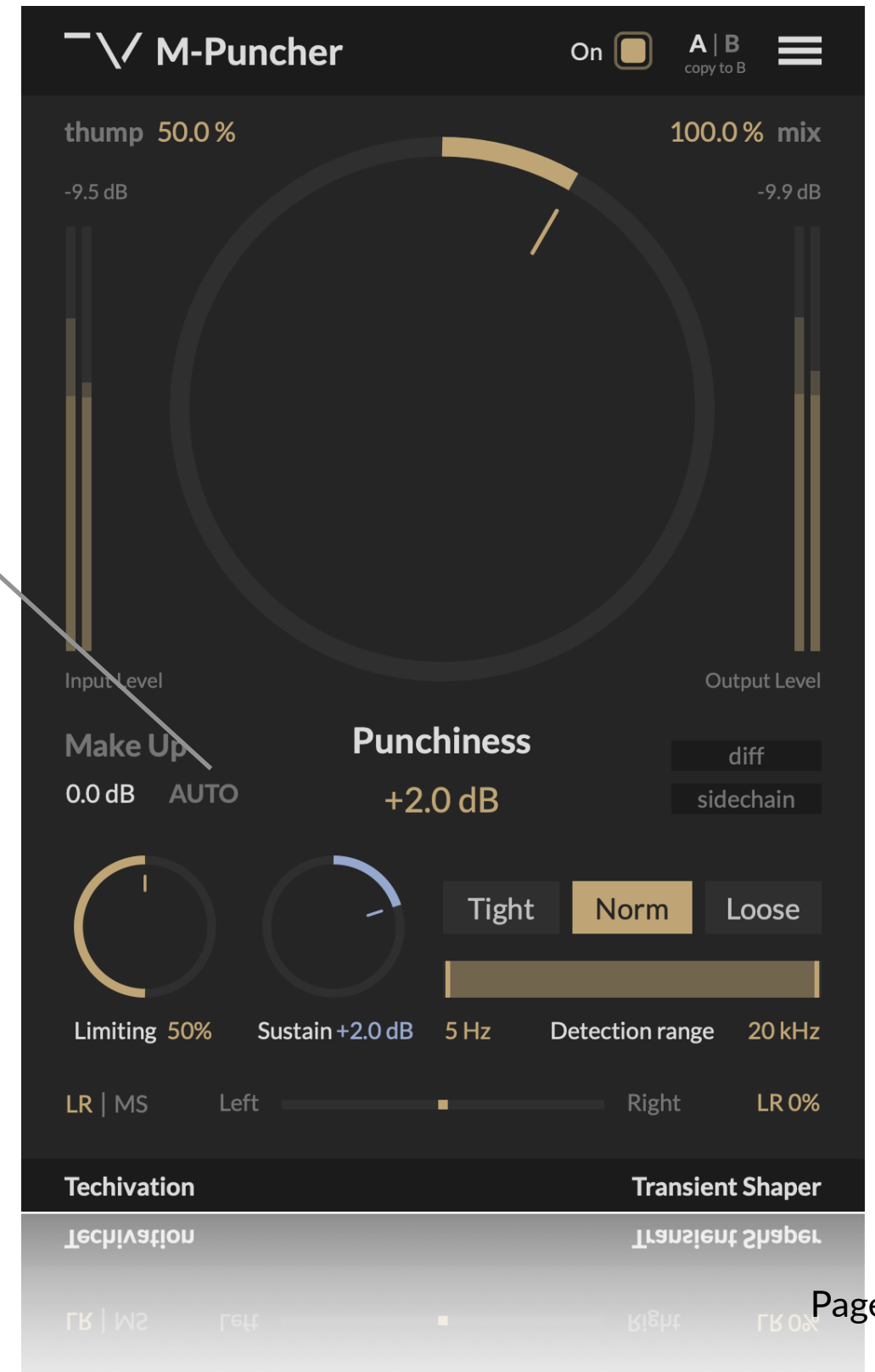
特徴

Auto Gain

M-Puncherの設定を微調整しながらレベルマッチングを簡単にするために、「Auto Gain」モードが用意されています。

Auto Gain'を有効にすると、プラグインの入出力レベルを継続的に測定し、適切なメイクアップ・ゲインを自動的に適用します。Auto Gain'は測定に基づいているため、パラメーターの素早い変更に対応するのに時間がかかる場合があります。

重要: 'Auto Gain'は継続的にメイクアップゲインを調整するので、プラグインの設定を微調整している間だけ有効にすることをお勧めします。Auto Gain'を無効にすると、'Make Up'ゲインパラメーターが最新の測定値に設定されます。



Techivation M-Puncher

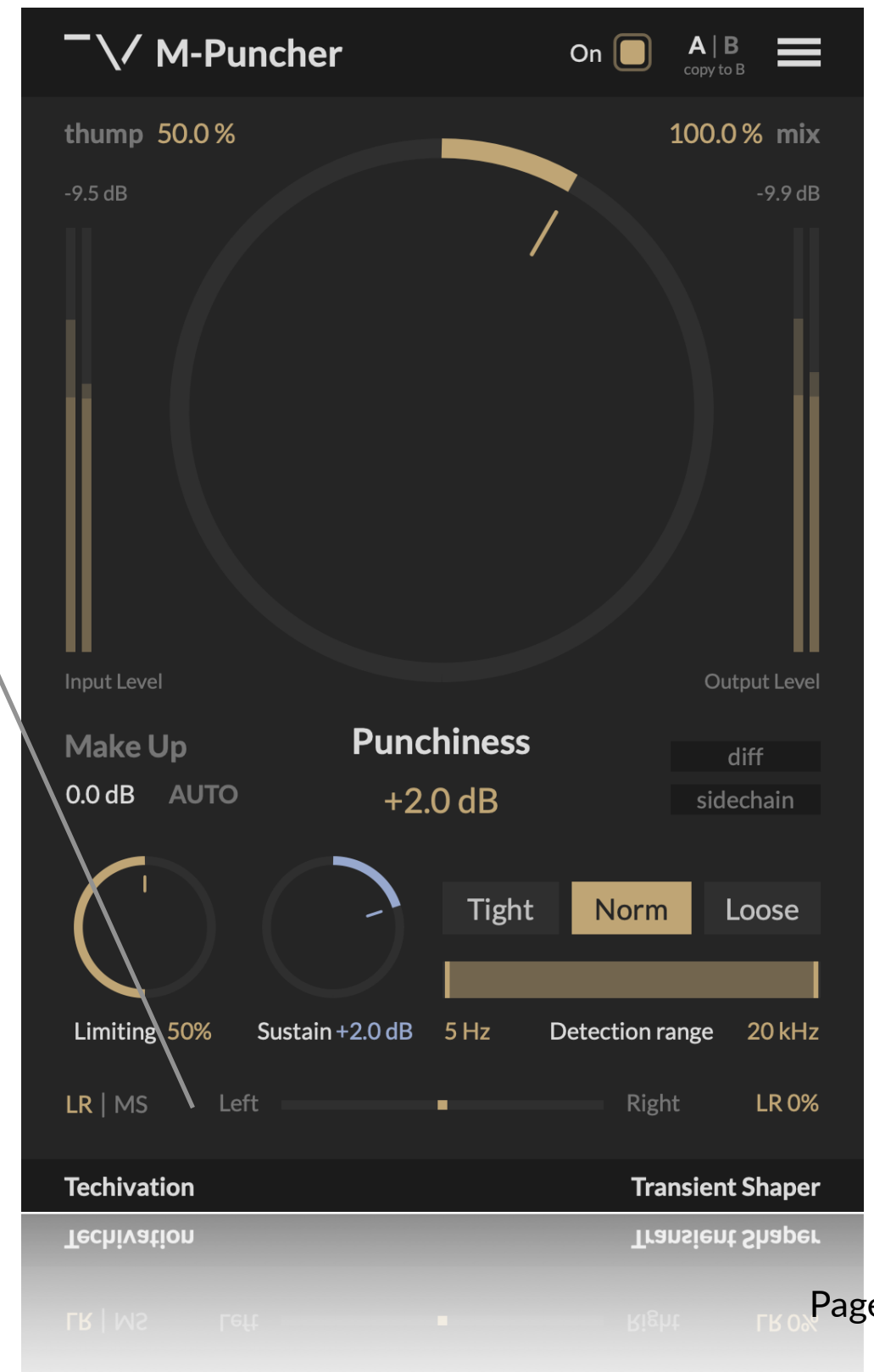
特徴

Mid-Side and Left & Right

この機能により、処理をLR（左右）またはMS（ミッドサイド）モードに切り替え、ステレオトラックのLRまたはMSチャンネルに対するプラグインの効果量をコントロールできます。

LRモードでは、プラグインは左右のチャンネルを独立して処理します。トラックのステレオバランスを維持する必要がある場合は、処理をMSモードに切り替えます。

モードを切り替えるには、バランススライダの左側にあるLR（左右）またはMS（ミッドサイド）をクリックし、スライダを左右にドラッグするか、右下のパーセント値をクリック、ドラッグ、または入力して量を設定します。



Techivation M-Puncher

特徴

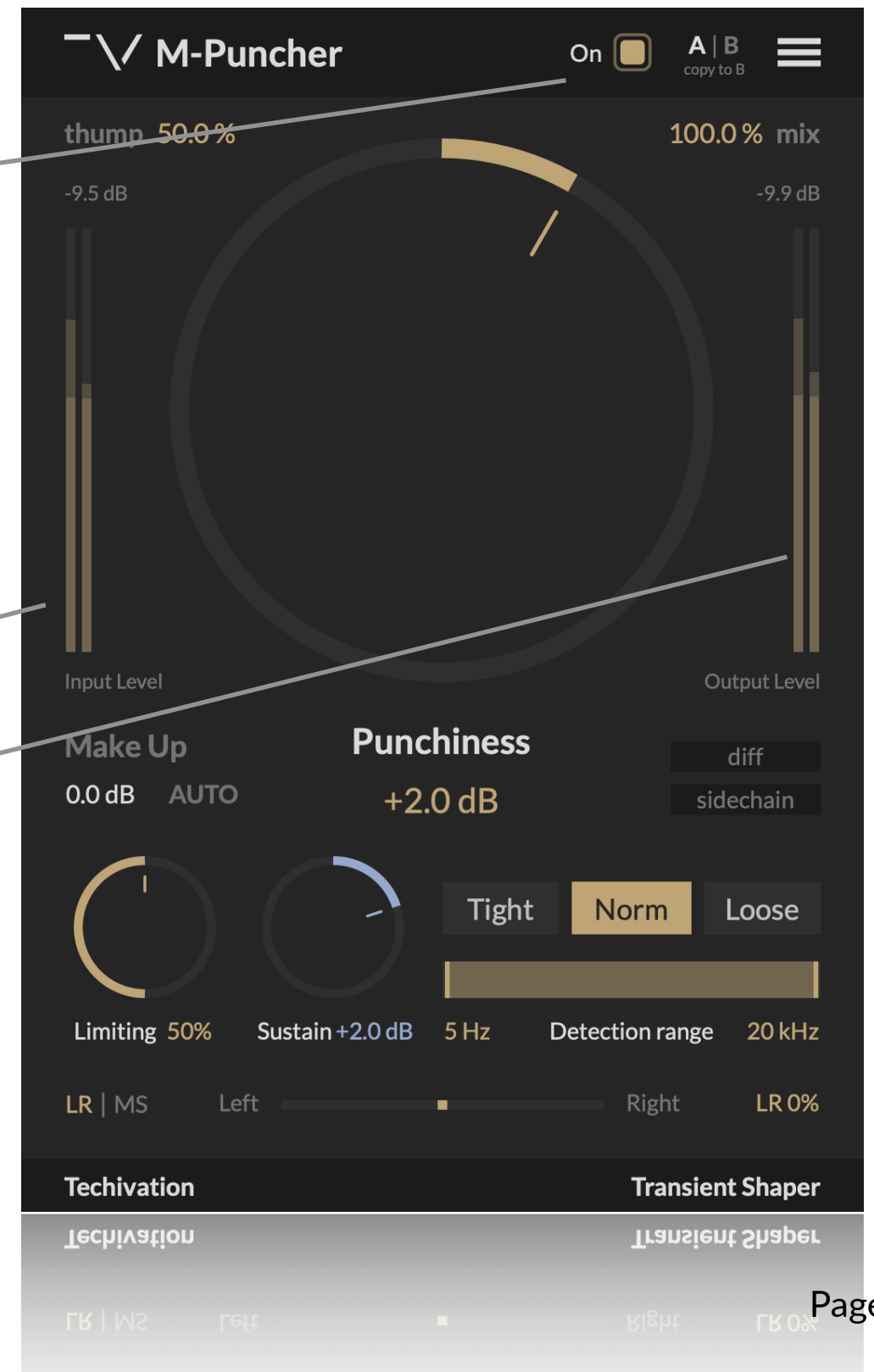
Internal On-Off Switch

このプラグインは専用のバイパス/オンコントロールを備えており、エフェクトを素早く有効化またはバイパスすることができます。このユーザーフレンドリーなコントロールは、DAWホスト内で直接エフェクトのオン/オフを切り替える際に発生する可能性のあるクリックやオーディオ・アーチファクトを回避するために設計されています。

Input-Output Level Meters

入出力レベルメーターは、処理前後の入力信号と出力信号のオーディオレベルを表示するビジュアルディスプレイです。

これらのメーターは、入力と出力のレベルをリアルタイムでフィードバックし、オーディオ処理中に発生する振幅の変化をモニターすることができます。



Techivation M-Puncher

特徴

Presets

このプラグインは、既存のプリセットを読み込むだけでなく、右上にあるメニューを使って独自のカスタムプリセットを作成・保存することもできます。

この機能により、特定のミキシング・ニーズに合わせた様々な設定に素早くアクセスして適用することができ、ワークフローを合理化し、オーディオ処理タスクに一貫した出発点を提供します。

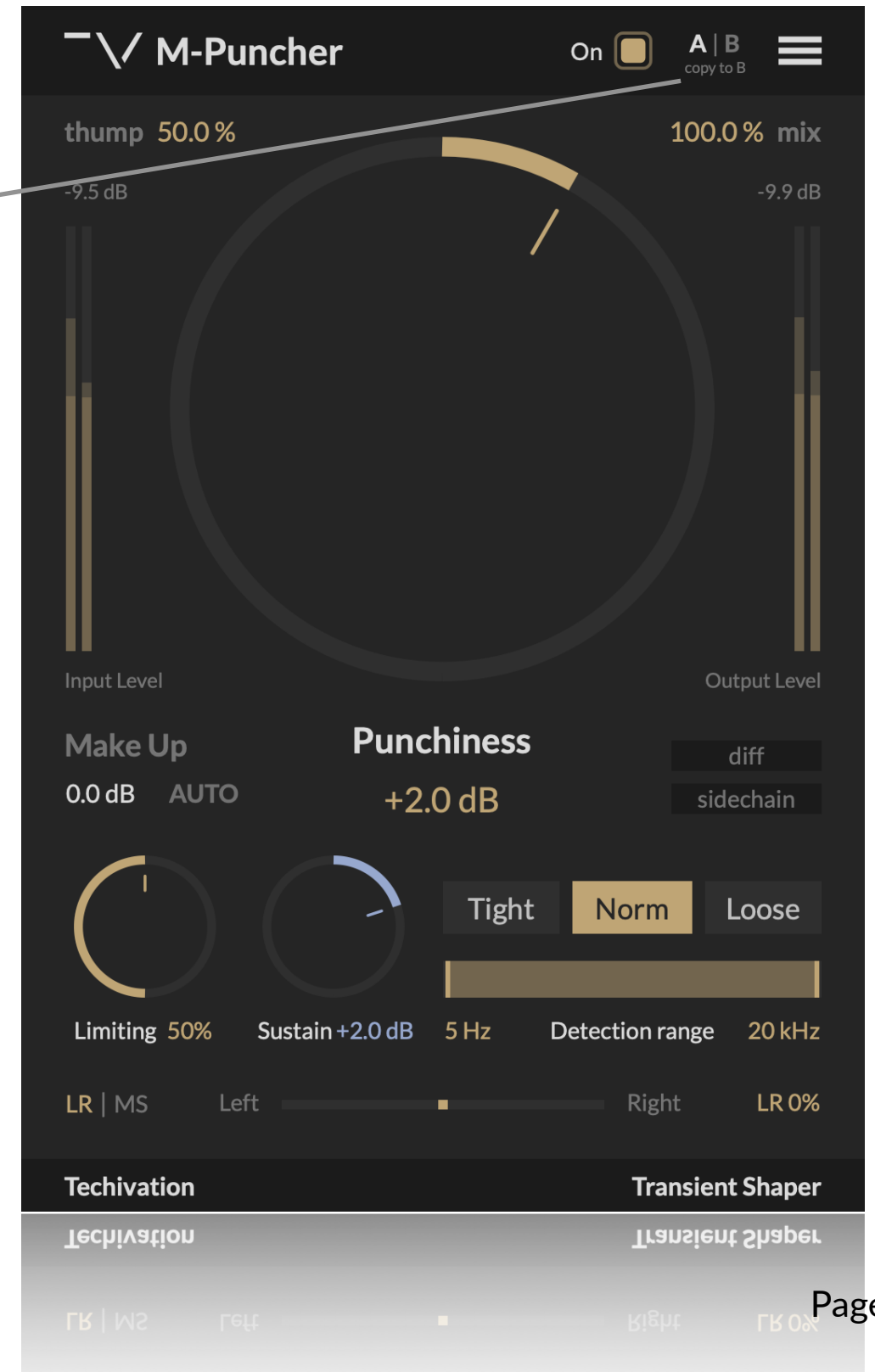
さらに、独自のカスタムプリセットを保存することで、異なるプロジェクト間で好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作への一貫した効率的なアプローチを保証します。

Techivation M-Puncher

特徴

A | B Comparison

A/Bボタンは、異なるオプションを比較し、オーディオ処理のニーズに最適な設定を見つける便利な方法を提供します。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つの異なるバージョンを簡単に切り替え、結果を比較することができます。さらに、'Copy A to B'と'Copy B to A'機能により、設定を一方のバージョンから他方のバージョンにコピーして、その効果を比較することで、小さな微調整や調整を素早くテストすることができます。A/Bボタンと'コピー'機能を併用することで、処理の微妙な変化を効率的に評価し、最適なアプローチについて十分な情報に基づいた決定を下すことができます。この合理化されたワークフローは、時間と労力を節約し、技術的な詳細に煩わされることなく、ミックスのクリエイティブな側面に集中することができます。



Techivation M-Puncher

特徴

Undo/Redo

M-Puncherプラグインは、内蔵の「元に戻す」と「やり直し」オプションという便利な機能を備えており、オーディオ処理中にさらなる安心を提供します。これらの機能により、以前の設定に簡単に戻したり、誤って行った変更をやり直すことができ、時間を節約し、貴重な調整を失う可能性のあるストレスを解消します。

元に戻す'と'やり直し'オプションにより、オーディオを永久に変更する心配なしに、さまざまな設定や構成を試すことができます。さらに、この機能は、バックトラックや別の処理経路を探索する効率的な方法を提供することで、ワークフローを向上させ、オーディオ制作において、より多くの情報に基づいた意思決定を可能にします。

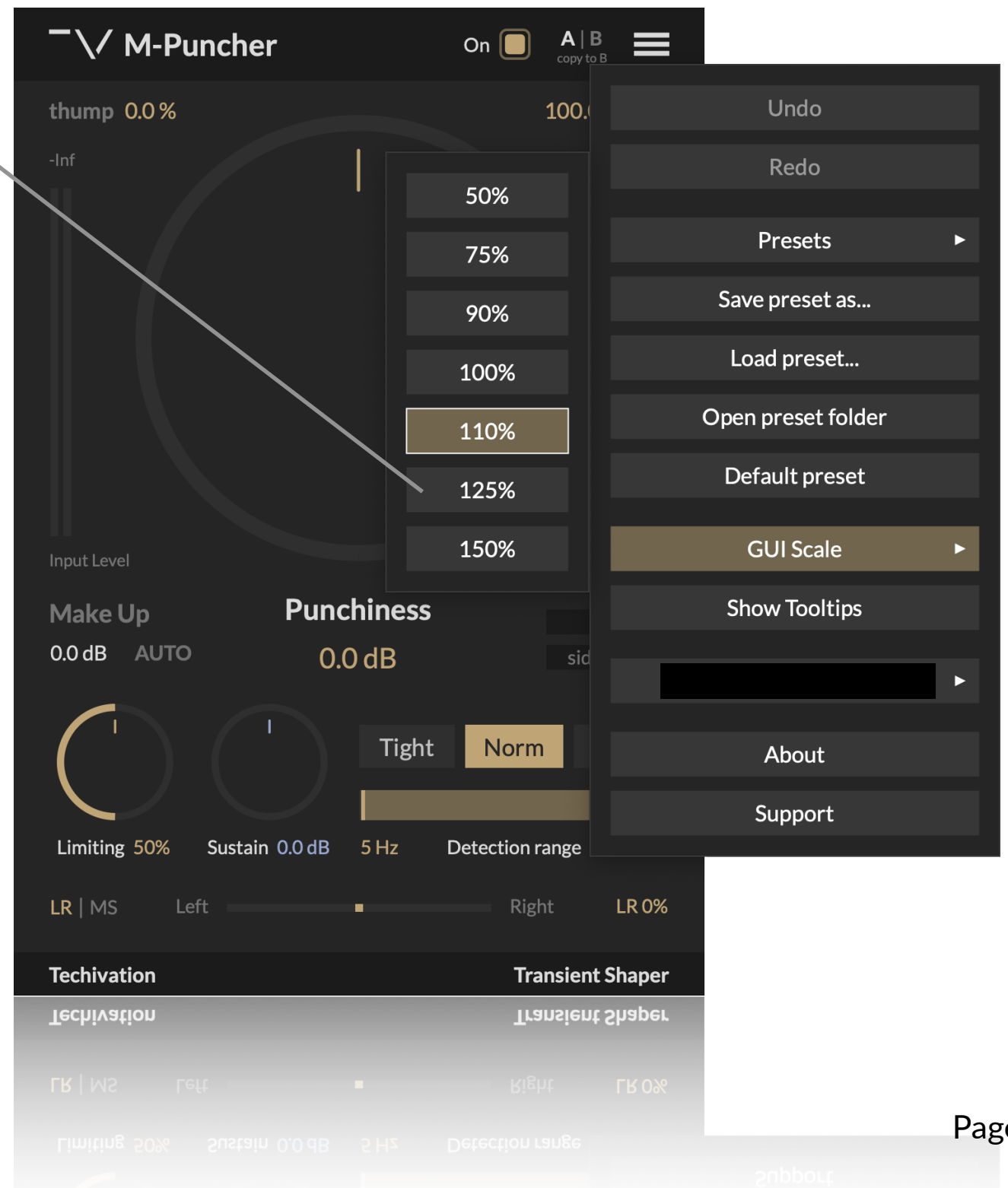


Techivation M-Puncher

特徴

GUI Scale

M-Puncherのインターフェイス・スケーリング機能により、好みに合わせてGUIのサイズをカスタマイズし、ワークフローを最適化することができます。50%から150%まで、様々なスケーリングオプションが用意されているので、あなたのビジュアルや作業スタイルに合わせてインターフェイスをパーソナライズすることができます。この機能の優れた点の1つは、選択したスケールに関係なく、プラグインのビジュアル品質が一貫して保たれることです。このため、好みの表示サイズに合わせて拡大・縮小しても、インターフェイスはクリアで読みやすいままです。さらに、M-Puncherのインターフェイスの拡大縮小機能は、Retinaディスプレイを含むハイエンド品質のモニター用に最適化されており、プラグインが様々なデバイスで美しく見え、確実に動作することを保証します。

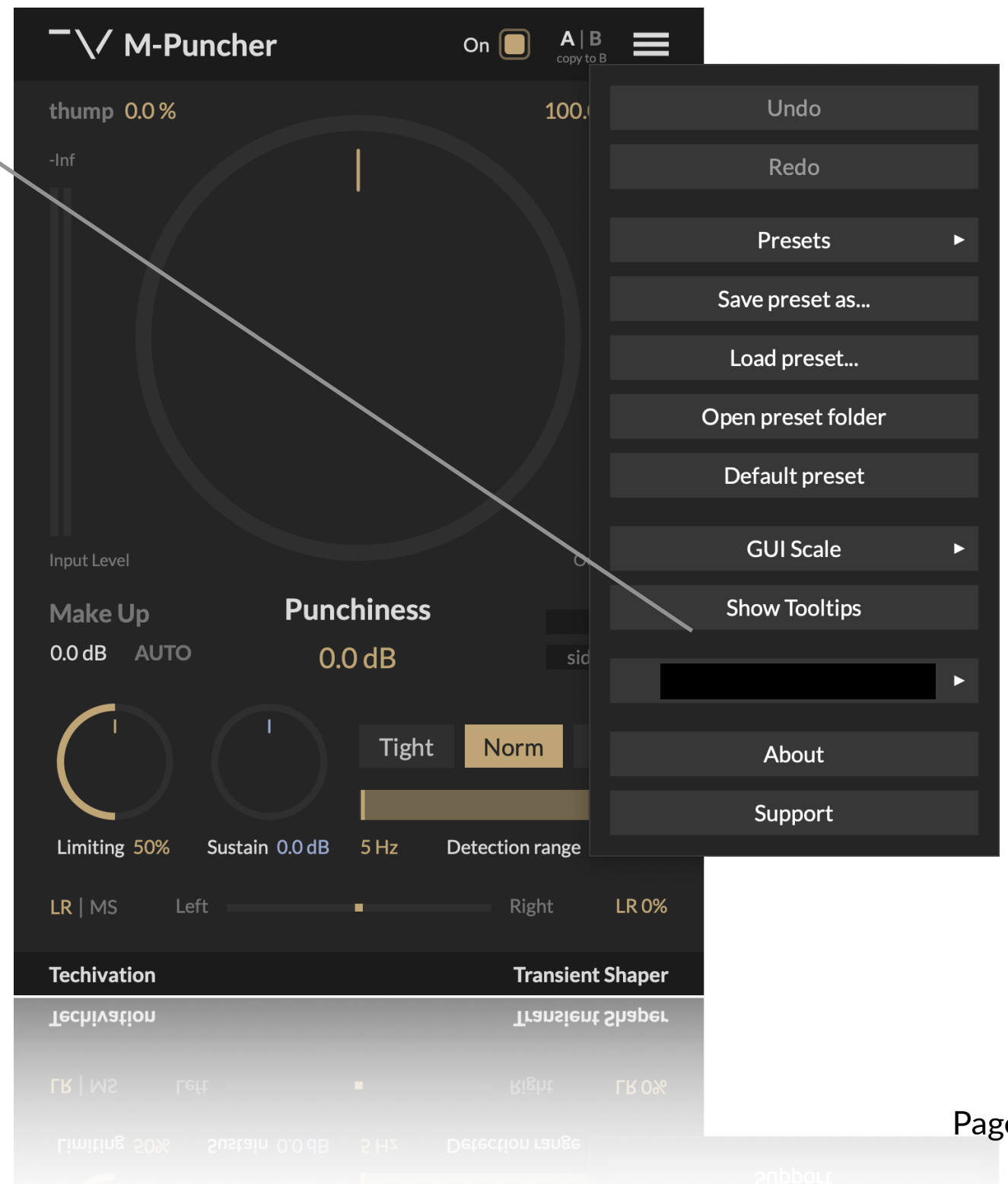


Techivation M-Puncher

特徴

Tooltips

M-Puncherには便利な「ツールチップ」オプションがあり、プラグインのメニューから有効/無効を切り替えることができます。このオプションを有効にすると、ユーザーインターフェースの各セクションの上にマウスを置くだけで、各セクションの簡単な説明を見ることができます。ツールチップは、プラグインの様々なコントロールや設定について素早く知るための優れた方法です。各パラメータの機能、範囲、オーディオ信号への影響など、役立つ情報を提供します。ツールチップオプションを有効にすると、ワークフローがスピードアップし、M-Puncherプラグインでの作業がより簡単になります。特定のコントロールが何をするのか分からない場合、マウスをその上に置くだけで、素早く有益なツールチップが表示されます。



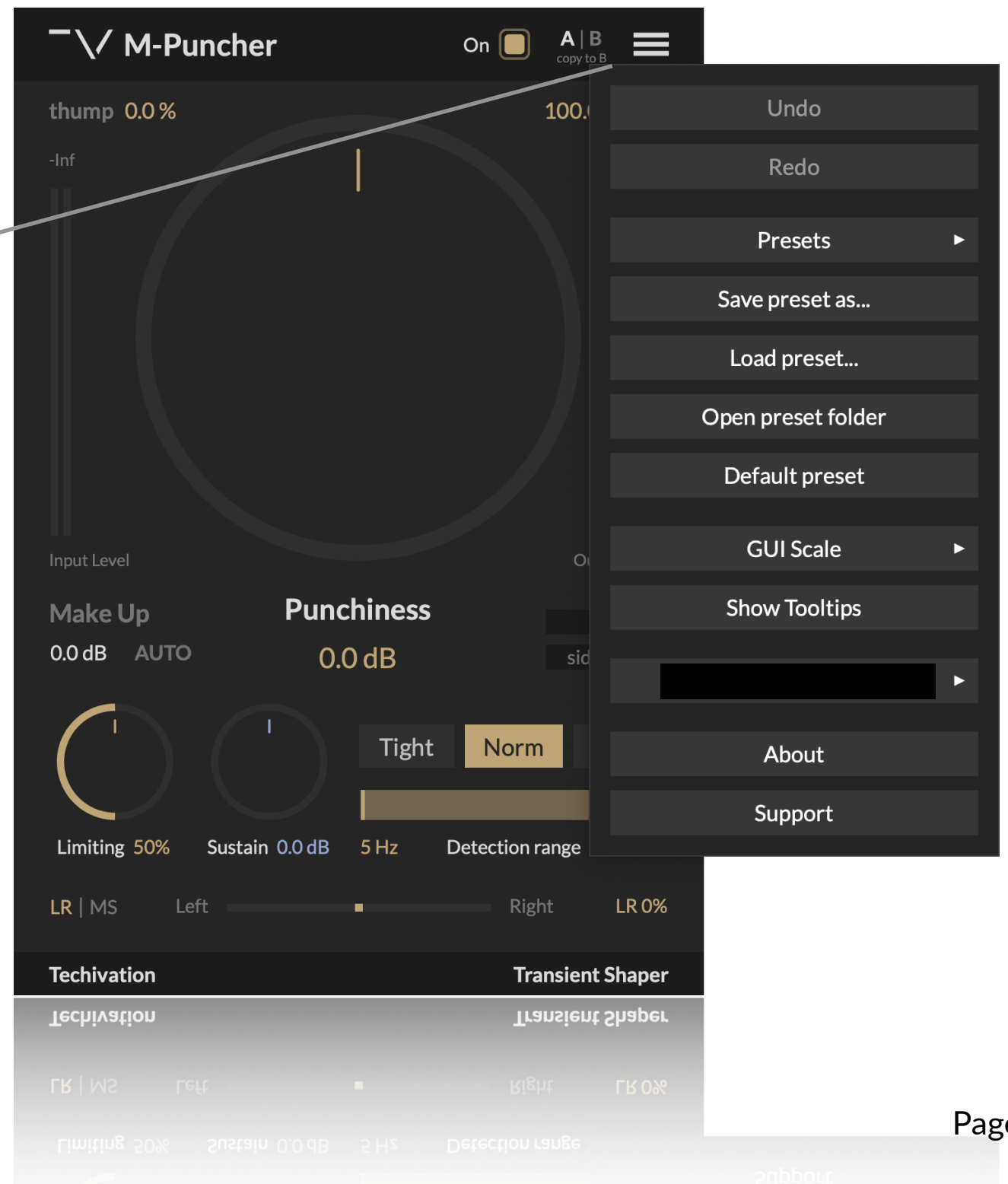
Techivation M-Puncher

特徴

プラグインメニュー

便利な機能のクイックメニュー:

- Undo
- Redo
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Open preset folder
- Default Preset
- GUI Scale
- Show/Hide Tooltips
- [Eメール]/Sign in
- About
- Support



Techivation M-Puncher

互換性

プラグイン・フォーマット: VST, VST3, AU, AAX.

対応プラットフォーム: 通常のmacOSインストーラーがサポート
10.13 (High Sierra) 以上, 正規のmacOSインストーラーは10.9 (El Capitan) から10.12 (Sierra) です。Windows 7以上 32および64
ビット

対応 DAW: Ableton Live, Logic Pro, Avid Protools, FL Studio,
Cubase, Nuendo, Reaper, and other major DAW softwares on the
market that support 'Sidechain' processing.

活性化

M-Puncherは、弊社のウェブサイトからライセンスを購入し、弊社の条件に従ってアクティベートする必要があります。弊社からライセンスを購入すると、プラグインにサインインした後、自動的にTechivationアカウントでプラグインを有効化します。1つのライセンスを購入された方は、同時に最大2台のマシンでプラグインを使用することができます。

サポート

サポートに関するお問い合わせは、techivation.com/supportをご覧ください。

権利の詳細については、techivation.com/terms-conditionsをチェックしてください。ご不明な点がございましたら、メールにてお気軽にお問い合わせください。info@techivation.com または techivation@gmail.com

インストール

M-Puncherのライセンスを購入すると、プラグインにサインインしてアクティベーションを行い、生涯使用することができます。

ソフトウェアのダウンロードはサインアップ/購入時に提供されますが、Techivation.comでいつでも最新のソフトウェア・アップデートを入手することができます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMacまたはPCのインストーラを選択してください。(警告: PC用のファイルをMacで実行したり、その逆はしないでください)。

- Mac: PKGインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってください。
- PC/Windows: ファイルの内容を解凍します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従ってください。

*注: Mac OS X 10.9から10.11をお使いの場合は、レガシーmacOSインストーラーをダウンロードしてください。

Techivation M-Puncher

アンインストール場所

MAC OS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

その他のデータ: ~/Library/Application Support/Techivation

WINDOWS

VST: Custom path from installer

VST3: \Program Files\Common Files\VST3\

or \Program files(x86)\Common Files\VST3

AAX: \Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\

その他のデータ: C:\ProgramData\Techivation

注意: このフォルダは隠しファイルなので、まず隠しファイルを見るように設定を変更してください』。